キビノクロウメモドキ（クロウメモドキ 科）　　**兵庫県：Aランク**

Rhamnus yoshinoi Makino　　**環境省：絶滅危惧Ⅱ類**

種の概要

落葉低木または小高木。枝は互生し、無毛、紫褐色で、光沢がある。長枝の先は刺になる。また短枝がある。葉は互生ときにやや対生し、倒卵状長楕円形で、長さ3-8cmになり、幅2-4cm、先は急尾状尖頭、基部はくさび形に狭まり、縁に細かな鈍鋸歯があり、側脈は4-5対、表面には伏毛が散生し、裏面は脈上のほか、脈腋にも毛がある。ときに葉に毛のないものもある。葉柄は長さ5-20mmで長く、有毛または無毛。花は5月に咲き、長枝の基部近くに少数個、腋生し、また短枝にも群がる。雌雄異株で、4数からなり、黄緑色、小花柄は長く、雌花の柄は長さ9-13mm、無毛。萼筒は狭鐘形、狭漏斗形、萼裂片は披針形で長尖頭、長さ3-3.5mmで、花の時、反り返る。

標本：頌栄短期大学所蔵

国内分布

本州（近畿以西）、四国、九州

県内分布

西播

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○			○	○

特記事項

県内では１ヶ所に知られている。分布の東限。

保護上の留意点

自生地の保全が重要である。